NIE実践報告

1．タイトル：☆説明文を読んで新聞の「ひと」欄に再構成しよう

2．学校名

大阪教育大学附属天王寺中学校(大阪府)

3．実践者名（代表者名）

松尾　澄英

4．学年

第2学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語　161人

6．単元（本時の学習課題）名

情報を的確に読み取り再構成する

7．目標（狙い）

人の生涯を描いた説明文(人物ドキュメント)を読み、新聞の「ひと」欄に再構成する。

8．評価の視点

ⅰ説明文に記された人物について、基本的な情報の読み取りが出来ているか。
ⅱ規定の字数や構成で文章を再構成できているか。
ⅲ新聞記事として効果的な表現(見出し、語、書き出しの工夫など)が出来ているか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「小さな労働者」(教科書教材:東京書籍)全4時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

(1)教材文「小さな労働者」を読んで、ルイス・ハインの生涯についての事実と、筆者の意見を区別する。(1時間)
(2)既存の新聞記事(朝日新聞)から複数の「ひと」欄を読み、記者がどのように人物を紹介しているかを考える。(1時間)
(3) (2)で読み取った新聞の人物紹介の型を用いて、教材文に描かれている人物「ルイス・ハイン」を紹介する「ひと」欄(約600字)を書く。(1時間)
(4)生徒同士で「ひと」欄を読み合い、新聞記事としての効果や、それぞれの記者の人物紹介の視点について批評する。(1時間)

(留意点)
・説明文(人物ドキュメント)から「ひと」欄の再構成に当たっては、それぞれのメディア特性に気付かせるようにする。特に新聞には、見出しや書き出しの工夫、少ない字数で情報をしぼり込む必要があることを確認する。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

「ひと」欄を書くという目的がはっきりしているため、教科書の説明文を積極的に読み取ろうとする態度が見られた。また、「ひと」欄を書く際には、読み手を意識し必要な情報に絞り込んで再構成する

12．成果と課題

教科書の説明文の再構成という課題であったため、すべて自分で文章を紡ぎ出すよりも、どの生徒にも無理なく取り組める活動となった。また、短い記事にするために、説明文の構成や中心となる文をしっかり抽出しようとする態度が見られた。

一方で、新聞記事への再構成を行う際には、誰にどのような視点で人物を紹介したいのかという、目的意識や書き手の意図をはっきりさせないと、単なる文章要約に陥ってしまう。規定の字数を埋めて記事らしい形にはなっているものの、新聞というメディアの特性を意識した表現の工夫を探求させる必要があると考えた。